

テーマ

# 縄文時代から学ぶ

発行日

9月3日

発行者(氏名)

田端  
小学校  
第6学年  
児童

I このテーマの記事を選んだ理由を書いてください。

社会の授業の中で「縄文時代」と誕生時代のどちらの時代に生きたりか?も考えた。私は「縄文時代」を選んだ。その縄文遺跡群が世界文化遺産に決定した。テレビで見ているときはあどきしかなかったが改めて新聞を読んでみると疑問がわいてきた。世界中に数多くの遺跡がある中でこの縄文時代が選ばれるほど特別な文化であるのか?それを調べてみたかった。

II 比べる記事のそれぞれの内容について分かったことを書いてください。

①について 縄文は日本独自の時代区分である。二万年以上続いた縄文時代の遺跡が今回世界遺産となる。世界の他地域では定住は「農耕・牧畜」と共に始まった。一方で縄文の人々は獣や魚、果物などを取って食べる「狩猟採集・漁労」などの生活をしながら定住するようになった。

②について 気候変動などの変化に適応し、自然と共生した持続可能な社会を営んだ縄文人の生き方は現代にも参考になる。「住み続けられるまちづくり」などのSDGの理念につながる。遺跡を学ぶことで人類共通の課題を考えるきっかけにもなる。

①と②を比べて分かったこと、自分で調べてみたいこと。

世間遺産に比べると、それだけ独自の価値があるというところが二つの記事から分かった。なぜ縄文時代は二万年以上も続いたのか?自然破れや地球温暖化など大きな課題に直面している私たちも縄文時代から何を学ぶべきかを考えたと思った。

III テーマについて、自分の考えや他の人と交流をして気付いたこと、調べたこと、提案などを書いてください。

調べてみると、縄文時代は理想的な持続可能な社会として注目されてきた。縄文人は、豊富な定住生活を送りながらも、自然の恵みを取りすぎることがないようバランスを考えていた。耕作地を拡大して安定した食料を確保するという方向ではなく、環境を大きく変えずに、自然を有効活用していたことを考えられている。縄文時代は自然を敬い、自然を生かしながら、平和な時代と長期継続させた世界的にも珍しい時代下があると知った。私は「世界中のいざばん負しい大統領のスピーチ」という絵本を思い出した。今の文明はものをたくさん作り、もうけただけで金で限りなく拡大しようとする社会だと警告している。また、新しい新しい洋服に気分がわくわくするし、新しい文房具の仕掛けは見ていてあきない。でも縄文時代という日本が誇るべき遺産を知り、未来に向けて、持続可能な社会はどうやって作り立つのか?自分の生きてもほしいものでもよく考えて使おうかなと思った。